

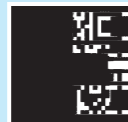
9月から運用開始 緊急情報伝達システム 「あいこうか緊急メール」

市では、9月1日から災害、気象情報、広域断水、犯罪情報等で緊急かつ広域的な情報を、市民の皆さんの携帯電話やパソコンにメール配信します。

登録方法

メール配信を希望する人は、自分の携帯電話やパソコンから、次のメールアドレスに空メールを送信してください。

→ touroku@koka-city.jp



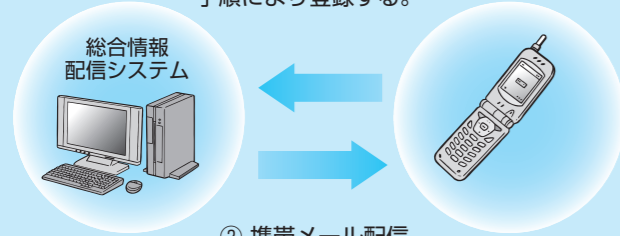
メール配信登録ができる情報

- ◎**災害情報** 地震情報、土砂災害情報、洪水情報、避難情報、広域断水情報等
- ◎**目撃情報** ひき逃げ情報、犯罪情報等
- ◎**注意報等情報** 光化学スモッグ情報、食中毒注意報、火災注意報、交通事故多発注意報等

利用上の注意

- 申し込み(登録)は無料です。ただしメールの登録・解除、メール送受信にかかる通信料、パケット通信費は、登録した人の負担となります。
- 迷惑メール対策で受信制限をされている場合は「koka-city.jp」のドメインからのメールを受信できるようにしておいてください。
- メールアドレスを変更した場合は、再登録してください。
- 登録の解除はいつでも可能です。
- このメールは、情報の配信のみで、返信はできません。
- 携帯電話の電波状態や通信事業者のシステムなどの条件によっては、メール着信に支障が生じる場合があります。
- 目撃情報は、甲賀警察署等の依頼等を受けて配信する予定で、全ての情報を配信するものではありません。
- 提供する情報は市民の皆さんに注意等呼びかけるためのものですのでご理解をお願いします。

①まず、指定のアドレスに空メールを送信し、返信後登録する。手順により登録する。



② 携帯メール配信

問い合わせ

総務課 総合防災係 ☎65-0733 FAX63-4554

緊急招集にも機敏な対応

—県建設業協会甲賀支部防災訓練—



▶2000袋もの土のうを短時間で作りあげる甲賀支部の皆さん

県建設業協会甲賀支部の皆さんによる防災訓練が、8月3日(金)水口の野洲川河川敷で行われました。

訓練は、堤防決壊を想定したもので、当日は、支部会員にも事前連絡なしで実施されましたが、連絡から30分以内には資機材等を用意し、集会が終わりました。

訓練では、土のう作りや積み上げ、杭打ちなどが行われ、訓練を視察した中嶋市長も「緊急の抜き打ち訓練にもかかわらず、短時間にこれだけの人が集まられるとは、まさに結束力を誇る建設業協会」とあいさつ、また「万が一の災害のときには市民を守るために支援を」とお願いしました。

建設業協会甲賀支部と市は、昨年1月に災害応援協定を締結、今後も連携を取りながら災害時対応に備えることとしています。



▶訓練に参加し杭打ちをする中嶋市長

広島平和記念事業に 参加した皆さん(敬称略)

- | | | | | | | | | |
|---------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|
| 甲南第二小学校 | 大原小学校 | 大原小学校 | 佐山小学校 | 大野小学校 | 貴生川小学校 | 伴谷東小学校 | 水口小学校 | 柏木小学校 |
| 藤原 風太 | 福永 啄也 | 堅田 菜 | 廣岡 純 | 谷邨 典子 | 中川 智貴 | 藤井 永吉 | 斉藤 大介 | 吉治 穂乃香 |
| | | | | | | | | 早瀬 彩音 |

問い合わせ 総務課 総務係 ☎65-0663 FAX 63-4554

県消防操法 訓練大会

甲賀市消防団が健闘 ポンプ自動車の部で 一連覇!

滋賀県消防学校で8月5日(日)、第42回滋賀県消防操法訓練大会が開催されました。本市から土山・甲賀・信楽の3方面隊の皆さんが出場され、ポンプ自動車の部では信楽方面隊信楽分団が優勝、土山方面隊第1分団が準優勝、小型動力ポンプの部では、甲賀方面隊第2分団が5位に入賞されました。



▶ポンプ自動車の部で準優勝を果たした土山方面隊



▶積み重ねた練習の成果を発揮し優勝に輝いた信楽方面隊



▶小型動力ポンプの部で5位に入賞した甲賀方面隊

平和への誓い新たに

～広島平和記念式典に参加～



▶原爆の子の像(右後ろ)に折り鶴を捧げ平和を誓った市内の小学生の皆さん

8月5日(日)・6日(月)の両日、市内小学校の6年生代表10名が広島平和記念式典に参加しました。これは、戦争・原爆の悲惨さと平和の大切さを認識してもらおうと毎年実施しているものです。

5日は、平和記念公園内の原爆の子の像に折り鶴を捧げた後、原爆ドームや資料館を見学し、宿舎では語り部さんから被爆体験を聞きまし。6日には、平和記念式典に出席、犠牲者の冥福を祈るとともに、尊い命を奪った戦争を二度と起こさないことへの誓いを新たにしました。

参加された児童の皆さんの感想を紹介します。(感想文から抜粋し掲載)

心に残った語り部さんのお話

語り部さんが話してくださって心に残ったことは、「戦争は国がおこす犯罪」という言葉です。なぜかという戦争でなにも悪いことをしていないのに人々の命がうばわれてしまうからです。だから「戦争は国がおこす犯罪」ということを、日本のみんなにわかってもらって、これからも戦争をしない国であり続けてほしいです。

想像できない原爆

平和記念資料館では、原爆症にかかった人の写真や原爆にふきとばされた人の服がありました。その服をばくのお母さんが着ていたらどうなったかと想像しようとしたけれど、こわくてできませんでした。

次の世代へ伝えたい

62年前に起きた戦争。遺族の人たちや被爆した人たちはお年よりが増えてきて、戦争のことが忘れられていくような気がしています。これからの未来を背負って立つぼくたちが戦争のこと、原爆のことを次の世代、またその次の世代へと伝えていかなければならないと思いました。

笑顔あふれる国に

式典に参加して思ったことはだれもが平和な国がいいと思ってるということです。私にもできることがあればお手伝いをしたいし、笑顔あふれる国にしたいです。